



土佐日記正  
 文  
 故橋守部先生訂正  
 榎道中  
 松井義令  
 同校  
 全





土佐日記正文



海城老酒







お書の御覧にこそしは　よきものぞあはれなり  
ふりかへることもけり　梅木の枝よえしせて遠近  
そびら香にちり　そよひほゆるるる　さしのけの  
いれきこいあ　ゆに　りや　おほくま　まひら  
じ　た　め　し　い　ひ　し　た　ま　む　か　し　の　語　十　餘  
た　る　け　い　し　の　あ　り　ま　わ　ら　い　よ　も　し　り　は  
さ　る　さ　り　の　い　ろ　か　ふ　り　と　ら　ふ　り　と　ら　た　し　り  
い　し　り

松井義令

昨日の夕もふ　おのころ　年々　わ  
ら　ら　る　の　あ　ら　も　よ　も　の　せ　る　た　ら　ふ  
け　し　を　細　く　ほ　く　ら　り　あ　り  
ほ　も　よ　ち　り　わ　に　な　し　い　ら　り  
さ　け　ら　る　の　あ　り　の　日　記　に　よ　く  
あ　ら　る　か　ら　あ　り　の　う　ら　な　は



心やる荒くもむのうま極み  
かるまの榮ふあつりよふ  
たふあふあふあふあふあ  
たのあも理はさあまは  
持のゆあふあふあふあ

橋道守

土佐日記正文上

橋道守 同校  
故橋守部先生訂正  
櫻井義介

男志(1)(2)次(3)日記(4)と(5)ふ(6)よ(7)ま(8)な(9)も(10)ト(11)三(12)て(13)て(14)  
ろ(15)ん(16)て(17)は(18)か(19)る(20)り(21)そ(22)れ(23)の(24)も(25)一(26)ち(27)を(28)あ(29)め(30)て(31)所(32)を(33)ま  
あ(34)ひ(35)と(36)あ(37)め(38)て(39)は(40)か(41)ら(42)い(43)て(44)は(45)か(46)ら(47)い(48)て(49)は(50)か(51)ら(52)い(53)  
の(54)ら(55)ま(56)る(57)く(58)あ(59)つ(60)り(61)よ(62)ふ(63)ま(64)の(65)あ(66)ら(67)は(68)い(69)  
か(70)ら(71)い(72)て(73)は(74)か(75)ら(76)い(77)て(78)は(79)か(80)ら(81)い(82)て(83)は(84)か(85)ら(86)い(87)  
か(88)ら(89)い(90)て(91)は(92)か(93)ら(94)い(95)て(96)は(97)か(98)ら(99)い(100)





あつたかゝるものも。わがまゝで書かされてゐる文字を  
だぶまゝねまゝに。あゝと。十文字にあひて。ぞ。ぞ。  
ぶ。

廿五日守は。た。ち。の。び。の。ま。し。あ。は。ら。の。ま。は。ら。  
て。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。  
あ。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。

廿六日。た。ち。の。び。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。  
の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。

げて。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。  
の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。  
は。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。

ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。  
あ。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。  
ま。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。

ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。  
ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。  
ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。の。ま。は。ら。

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

廿七日おほり  
<sup>あ</sup>あに系をカた  
おほりちカに系をカた  
おほりちカに系をカた  
<sup>え</sup>えに系をカた

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



八日 浦より。まゝ。大津。まゝ。お。い。の。い。  
 じ。ま。い。の。い。の。い。の。い。の。い。の。い。  
 じ。ま。い。の。い。の。い。の。い。の。い。の。い。  
 じ。ま。い。の。い。の。い。の。い。の。い。の。い。

廿八日 浦より。まゝ。大津。まゝ。お。い。の。い。  
 じ。ま。い。の。い。の。い。の。い。の。い。の。い。  
 じ。ま。い。の。い。の。い。の。い。の。い。の。い。  
 廿九日 大津より。まゝ。お。い。の。い。の。い。

廿九日 大津より。まゝ。お。い。の。い。の。い。  
 じ。ま。い。の。い。の。い。の。い。の。い。の。い。  
 じ。ま。い。の。い。の。い。の。い。の。い。の。い。  
 三十日 大津より。まゝ。お。い。の。い。の。い。  
 じ。ま。い。の。い。の。い。の。い。の。い。の。い。  
 じ。ま。い。の。い。の。い。の。い。の。い。の。い。  
 三十一日 大津より。まゝ。お。い。の。い。の。い。  
 じ。ま。い。の。い。の。い。の。い。の。い。の。い。  
 じ。ま。い。の。い。の。い。の。い。の。い。の。い。













なるはうのうたがた...  
 へんじう...  
 くま...  
 えん...  
 の...  
 あ...  
 か...  
 も...

といふ...  
 し...  
 う...  
 ん...  
 も...  
 へ...  
 う...  
 む...  
 め...

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style. The first line begins with a large initial letter, possibly 'S'. The text continues across several lines, ending with a small mark at the bottom right.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style. The first line begins with a large initial letter, possibly 'S'. The text continues across several lines, ending with a small mark at the bottom right.

ちねとぶふふふふ。かまらぬしゝふふふ。ふふふふふ  
つふふふふふふふふ。ふふふふふふふふふふふふふふ  
まふふふふふふふふ。ふふふふふふふふふふふふふ  
かめだたふふふふふふふふふ。かめだたふふふふふ  
つふふふふふふふふふ。ふふふふふふふふふふふふ  
（は）（れ）（て）（こ）（し）（教）（や）（れ）（ら）（ぬ）（と）（天）（つ）（う）（り）（お）（れ）（し）（お）（も）（ひ）（に）  
（な）（き）（た）（は）（ら）（し）（と）（そ）（い）（は）（お）（ま）（た）（を）（き）（こ）（て）（あ）（ら）（ふ）（人）  
よめ。

その中におもひあはせむいふ。おもひよめるまへ  
ひかき裁にふらむ。かきかへ。  
ナレとあはせむいふ。ふふふふふふふふふふふふふふ。  
ふふふふふふふふふふふふふふ。  
ふふふふふふふふふふふふふふ。  
ふふふふふふふふふふふふふふ。  
ふふふふふふふふふふふふふふ。  
ふふふふふふふふふふふふふふ。





土佐日記正文下

故人橋守部先生 訂

橋道守 同校  
松井義令

十七日。このれ。す。なく。あ。り。て。は。は。き。づ。く。よ。い  
し。あ。の。し。ろ。あ。け。は。は。あ。ひ。を。い。て。い。て。い。き。さ。ゆ  
と。あ。の。あ。ひ。は。ま。ま。の。う。も。海。は。底。も。お。お。り  
こ。し。に。ち。ん。何。り。な。る。し。も。む。ろ。の。ま。め。い。ま。さ  
を。そ。ろ。ろ。海。は。み。く。し。た。存。を。船。を。お。そ。ろ。海。は。う  
ち。は。そ。ろ。ろ。を。と。も。い。ま。ん。き。い。は。海。に。き。げ。ふ。な。か

まゝいゝ人おとと。

みれぞあまの国の人よ。あまの国の人よ。  
かづこもよ。い。わ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。  
う。け。ら。わ。が。は。の。そ。の。ひ。こ。の。ま。あ。き。  
わ。は。ら。れ。ぞ。う。び。し。き。あ。い。ふ。ら。ひ。た。ま。あ。あ。  
う。な。く。け。ゆ。よ。う。ち。あ。い。あ。あ。あ。あ。  
に。お。き。ぬ。れ。も。ふ。き。ぬ。ぞ。み。あ。な。ら。ん。と。ご。  
て。ふ。ね。い。ま。み。あ。ひ。だ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。

十八日。あまの国の人よ。あまの国の人よ。  
あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。  
と。も。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。  
る。も。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。  
ら。れ。れ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。  
あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。

い。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。  
あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。  
あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。







あまきくみはえたれどもしものさしを。あかりに  
さよなきまきせしむ。こは言葉しつた。人の心  
あせられば。こころをゆゆえたるは。むねのほ  
ろたふんあでさ。あふく。し。ま。回。ら。ぬ。ま。ま。  
と。わ。く。ま。の。な。れ。や。月。は。ほ。お。ぬ。し。り。ぬ。け。ん。  
れ。ん。人。は。あ。ら。む。か。げ。し。よ。あ。ん。さ。そ。そ。  
け。こ。を。あ。ひ。や。さ。て。あ。く。の。よ。あ。く。し。し。  
こ。ろ。そ。山。の。た。に。さ。し。月。な。れ。と。流。より。出。て。た。  
うみ

みよこそれ。  
廿一日。うたよきば。うたに。あ。く。た。み。れ。人。に。あ。ま。ね  
し。な。れ。さ。し。な。れ。さ。し。の。あ。ま。お。の。な。れ。さ。し。な。れ  
は。あ。う。よ。そ。あ。ら。く。あ。げ。ら。げ。の。あ。ひ。よ。よ。そ。よ。  
あ。あ。ん。せ。も。あ。ん。た。よ。あ。ん。さ。そ。あ。ま。ゆ。て。は  
あ。ひ。よ。よ。し。な。れ。ん。し。し。し。し。し。し。し。し。し。し。し。し。  
こ。う。ふ。あ。れ。し。  
な。ほ。い。さ。く。の。い。し。し。あ。ら。れ。し。し。し。し。し。し。し。し。し。し。し。し。

あつとーおんどふくやくしんじふあふれ  
なまかろしんふふふふふふふふふふふ  
つとふふふふふふふふふふふふふふ  
ゆふふふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふふふ  
はふふふふふふふふふふふふふふふ  
きふふふふふふふふふふふふふふふ  
うふふふふふふふふふふふふふふふ

十六

國よりちーあて。ういぞくむふにせんといふ  
なまふふふふふふふふふふふふふふ  
どがーらもふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふふ  
わふふふふふふふふふふふふふふ  
れふふふふふふふふふふふふふふ  
まふふふふふふふふふふふふふふ  
ぞふふふふふふふふふふふふふふ

その...  
ら船...  
見...  
...  
は...  
そ...  
た。

甘...  
甘...  
甘...  
甘...  
甘...  
甘...  
甘...  
甘...

かたしよりのたをさかすらつたひきかたし  
けりまひとてしりけりしるしとせたまはる  
すまにぬまひんぐちれはかたしりるしりた  
てまひりしきかたしりるしりたて  
あがしりるしりたてまひりるしりた  
てまひりるしりたてまひりるしりた  
てまひりるしりたてまひりるしりた  
ひまぬまひりるしりたてまひりるしりた  
ひまぬまひりるしりたてまひりるしりた

のよるまひりるしりたてまひりるしりた  
けりまひとてしりけりしるしとせたまはる  
すまにぬまひんぐちれはかたしりるしりた  
てまひりしきかたしりるしりたて  
あがしりるしりたてまひりるしりた  
てまひりるしりたてまひりるしりた  
てまひりるしりたてまひりるしりた  
てまひりるしりたてまひりるしりた  
ひまぬまひりるしりたてまひりるしりた  
ひまぬまひりるしりたてまひりるしりた

おんなのこ <sup>異</sup>  
うらなひ <sup>兼</sup>  
のり <sup>兼</sup>  
おんなのこ  
うらなひ <sup>兼</sup>  
のり <sup>兼</sup>  
おんなのこ  
うらなひ <sup>兼</sup>  
のり <sup>兼</sup>

おんなのこ  
うらなひ <sup>兼</sup>  
のり <sup>兼</sup>  
おんなのこ  
うらなひ <sup>兼</sup>  
のり <sup>兼</sup>  
おんなのこ  
うらなひ <sup>兼</sup>  
のり <sup>兼</sup>  
おんなのこ  
うらなひ <sup>兼</sup>  
のり <sup>兼</sup>









西口。ちやうど。うらぶ風。かみの。す。は。ま。な。い。ま。一。と。  
ひ。へ。舟。し。ま。み。ぐ。あ。り。ぬ。き。れ。も。ひ。な。も。か。い。風。  
ち。は。此。か。ら。い。か。い。い。て。は。い。ぬ。い。ぬ。な。ま。さ。か。  
此。も。あ。の。海。よ。り。く。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。  
あ。は。う。い。ぬ。が。ち。あ。い。れ。く。の。ち。か。ら。  
は。く。は。よ。か。

よ。ん。は。ら。ち。も。よ。か。ち。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。  
あ。い。の。ひ。ら。も。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。

あ。い。の。ち。や。い。ぬ。

ち。の。れ。び。ち。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。  
も。ち。の。ち。も。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。  
あ。い。の。ち。も。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。  
い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。  
い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。  
い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。  
い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。い。ぬ。









むらさき。一本にむらさきとよむるはむらさきとよむる。

むらさき。一本にむらさきとよむるはむらさきとよむる。

むらさき。一本にむらさきとよむるはむらさきとよむる。

むらさき。一本にむらさきとよむるはむらさきとよむる。

むらさき。一本にむらさきとよむるはむらさきとよむる。

むらさき。一本にむらさきとよむるはむらさきとよむる。

むらさき。一本にむらさきとよむるはむらさきとよむる。

むらさき。一本にむらさきとよむるはむらさきとよむる。

むらさき。一本にむらさきとよむるはむらさきとよむる。

むらさき。一本にむらさきとよむるはむらさきとよむる。

むらさき。一本にむらさきとよむるはむらさきとよむる。

むらさき。一本にむらさきとよむるはむらさきとよむる。

むらさき。一本にむらさきとよむるはむらさきとよむる。

むらさき。一本にむらさきとよむるはむらさきとよむる。

むらさき。一本にむらさきとよむるはむらさきとよむる。

むらさき。一本にむらさきとよむるはむらさきとよむる。



むねのうらみとてなほあはれぬ 園より松の  
木どもあつちの庭に梅は咲きけり くにけり  
いとくはなれはまじりてなほあはれぬ  
うれはなほはなほあはれぬ 中將の  
せむしなほにたてし梅のさかきけり  
けりてなほあはれぬ 中將の  
あはれぬ 中將の  
ちよとてなほあはれぬ 中將の

うらみとてなほあはれぬ  
あはれぬ 中將の  
ちよとてなほあはれぬ 中將の  
うらみとてなほあはれぬ  
あはれぬ 中將の  
ちよとてなほあはれぬ 中將の  
うらみとてなほあはれぬ  
あはれぬ 中將の  
ちよとてなほあはれぬ 中將の  
うらみとてなほあはれぬ  
あはれぬ 中將の  
ちよとてなほあはれぬ 中將の

たつらるるもあはれはなほ人あはれをさるるもあはれ  
かかればなほあはれをさるるもあはれ  
いふあはれはなほあはれをさるるもあはれ  
もあはれはなほあはれをさるるもあはれ  
のあはれはなほあはれをさるるもあはれ  
十日はなほあはれをさるるもあはれ

十日はなほあはれをさるるもあはれ  
十日はなほあはれをさるるもあはれ  
十日はなほあはれをさるるもあはれ  
十日はなほあはれをさるるもあはれ

言はれはなほあはれをさるるもあはれ  
お山はなほあはれをさるるもあはれ  
祖寺はなほあはれをさるるもあはれ  
もあはれはなほあはれをさるるもあはれ  
柳はなほあはれをさるるもあはれ  
あはれはなほあはれをさるるもあはれ  
あはれはなほあはれをさるるもあはれ



はるかに

~~~~~はるかに~~~~~

~~~~~はるかに~~~~~

~~~~~はるかに~~~~~

~~~~~はるかに~~~~~

~~~~~はるかに~~~~~

~~~~~はるかに~~~~~

~~~~~はるかに~~~~~

~~~~~はるかに~~~~~

~~~~~はるかに~~~~~

~~~~~はるかに~~~~~

~~~~~はるかに~~~~~

~~~~~はるかに~~~~~

~~~~~はるかに~~~~~

~~~~~はるかに~~~~~

~~~~~はるかに~~~~~



余少嗜編海志故記之  
又久矣今遊嶼中  
古蹟盡入於此  
亦未嘗不一在東裝



每三三不連披覽  
於年常歲歲  
才學則想為善行  
也如少者而書

明正十七年六月二十七日  
於甲府郡泉樓  
六

星輝



此の日記乃正文を先記せしむるに  
作者のまゝく、まゝ來て、まゝぬ、まゝの讀  
みは、心も九に、心も九に、心も九に、  
淑古を、人、梓、梓、梓、梓、梓、梓、  
み、み、み、み、み、み、み、み、み、み、  
き、き、き、き、き、き、き、き、き、き、

櫻井義典

明治十七年十一月十日板權免許  
同 十八年二月二日 出 板

橋守部相續人  
東京府士族

校正人

橋 道 守

山梨縣平民  
水所松倉町二丁目七番地

同

櫻井義令

同縣平民

出板人

東浦栄次郎  
西梨郡甲府柳町百九十五番地





發兌書林

東京 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同  
大 崎 名 靜 甲  
阪 玉 古 岡 府  
名 屋

江 北 吉 金 中 松 金 柳 長 片 廣 徵  
嶋 畠 川 島 外 村 花 原 嶋 野 瀨 古  
伊 茂 半 港 孫 喜 為 東 市 藏  
兵 兵 七 堂 堂 吉 衛 郎 郎 衛 堂  
衛 衛 七 堂 堂 吉 衛 郎 郎 衛 堂

大の三

九

八

